

地方独立行政法人大阪産業技術研究所
令和6事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

法人の毎事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、知事（設立団体の長）の評価を受けることとなり、令和7年7月22日開催の評価委員会の意見を踏まえ、大阪市長と協議の上、令和6事業年度の業務実績の評価を以下のとおり決定した。

■令和6事業年度の業務実績に関する評価結果

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

【主な評価等】

評価項目		評価	主な評価内容
住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	多様な技術分野における技術支援	B おおむね計画どおり	・ 利用者の利用満足度 目標：90%以上⇒実績：97.3% ・ 企業支援研究実施件数 目標：128件⇒実績：100件 大阪産業技術研究所が有する知見やノウハウに基づく技術支援の提供により企業の課題解決に貢献し、高い満足度を維持するとともに、国際規格に対応した電波暗室を備えたEMC技術開発支援センターの利用拡大、3D造形技術イノベーションセンターや先進電子材料評価センター等を活用した企業伴走型の研究に積極的に取り組んだ。
	研究開発の推進・産業人材の育成	A 計画どおり	・ 競争的研究実施件数 目標：100件⇒実績：111件 ・ 人材育成延べ人数 目標：520人⇒実績：1,269人 国際規格の策定に貢献した「各種材料の海洋生分解性評価法の開発」など時代のニーズに対応するプロジェクト研究をはじめとした研究開発を推進するとともに、企業ニーズを踏まえた技術者研修の実施など人材育成の支援に積極的に取り組んだ。
	事業化までの一気通貫の企業支援	A 計画どおり	・ 製品化・成果事例件数 目標：33件⇒実績：38件 ・ 技術情報の発信件数 目標：987件⇒実績：898件 ・ 研究論文の発表件数 目標：100件⇒実績：99件 ・ 知的財産出願・秘匿化件数 目標：35件⇒実績：30件 大阪・関西万博における「リボーンチャレンジ」事業として、中小企業・スタートアップとの共同開発等を実施するなど、府市の施策と連動した取組を実施するとともに、先端技術分野に関し企業等で構成されるワーキンググループを立ち上げる等、産学官連携に関する様々な取組を実施した。
業務運営の改善及び効率化		A 計画どおり	法人経営本部による企画立案・意思決定機能を強化する等、本部機能の一層の充実や管理部門業務の更なる効率化を推し進めるとともに、機器の計画的な保守等により使用停止期間を減少させ、依頼試験・装置使用等収入を大幅に増加させた。
財務内容の改善、その他業務運営に関する重要事項		A 計画どおり	・ 事業収入額（競争的資金を除く）目標：611百万円⇒実績：644百万円 事業収入の確保、財務基盤の強化と効率的な予算執行等に計画的に取り組んだほか、「財務内容の改善」「その他業務運営に関する重要事項」等に関する計画を順調に実施した。

<評価区分>

S:特筆すべき進捗状況 A:計画どおり B:おおむね計画どおり C:やや遅れている D:重大な改善事項あり